

公開討論会

貧困にどう立ち向かうか——橋エコノミストの提言——

政策提言

1. 最低賃金の引き上げは賃金格差を緩和するかもしれないが、現状では貧困対策の最有効策にはなっていない。
2. 生活保護は最後のセーフティーネットではあるが、この枠を拡大して貧困問題を解決するのではなく、年金や雇用保険を一層整備し、その他の所得移転・教育政策などを充実させることで、生活保護に頼らざるを得ない人を発生させないことが大切。
3. 低所得者層に対しての所得移転は、労働インセンティブを阻害しない給付つき税額控除制度が望ましい。
4. 所得税と社会保険料の一体徴収と負担調整が望ましい。そのためには、納税者番号を導入して、所得を正しく捕捉し、適切な税還付を可能とする体制を整えるべきである。
5. 社会保障の諸政策を実施するために必要となる経費は、消費税をはじめとして、国と地方を合わせた課税ベースの整理と増税によってまかなう必要がある。
6. 労働、社会保険、社会扶助、税制、教育、地方財政など貧困対策は多岐に亘っており、それらを総合的に把握し、政策として実効性をもたせるような司令塔を明確に設置すべきである。